

令和5年度入学者選抜学力検査問題

13時00分—14時30分 地域デザイン科学部・コミュニティデザイン学科志願者

小 論 文 (本文2ページ)

{ 注意

1. 検査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 「受験番号」は、解答用紙の受験番号欄に記入ください。
3. この冊子には1問題、二つの設問があります。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつた場合は申し出ください。
4. 解答は、必ず解答用紙の所定の解答欄に記入ください。所定の欄以外に記入した場合には、採点できないことがあります。

第1問 2015年9月の国連サミットにおいて、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す持続可能な開発目標(SDGs)が採択され、17ある目標のうちの7番目に「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」が掲げられた。日本のエネルギーに関する、問1および問2について答えなさい。

問1 下記の表は、日本における2010年から2020年までの発電電力量の電源構成の推移である。2011年東日本大震災を契機とした推移に関して、(1)および(2)について答えなさい。

(1) 表で示されている電源構成の年度ごとの変化の特徴を、250字以内(改行による空白、句読点を含む)で述べなさい。

(2) (1)で述べた事象を引き起こした背景と、そこから見出される課題について、250字以内(改行による空白、句読点を含む)で述べなさい。

表 電源構成の推移

(単位：億kWh、%)

年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
発電電力量	11,494	10,902	10,778	10,845	10,583	10,404	10,514	10,598	10,501	10,216	10,008
石炭	3,199	3,058	3,340	3,571	3,544	3,560	3,448	3,473	3,324	3,266	3,102
[シェア%]	[27.8]	[28.0]	[31.0]	[32.9]	[33.5]	[34.2]	[32.8]	[32.8]	[31.6]	[32.0]	[31.0]
石油等	983	1,583	1,885	1,567	1,161	1,006	999	889	727	641	636
[シェア%]	[8.6]	[14.5]	[17.5]	[14.4]	[11.0]	[9.7]	[9.5]	[8.4]	[6.9]	[6.3]	[6.4]
天然ガス	3,339	4,113	4,320	4,435	4,552	4,257	4,351	4,211	4,028	3,815	3,899
[シェア%]	[29.0]	[37.7]	[40.1]	[40.9]	[43.0]	[40.9]	[41.4]	[39.7]	[38.4]	[37.3]	[39.0]
原子力	2,882	1,018	159	93	0	94	181	329	649	638	388
[シェア%]	[25.1]	[9.3]	[1.5]	[0.9]	[0.0]	[0.9]	[1.7]	[3.1]	[6.2]	[6.2]	[3.9]
水力	838	849	765	794	835	871	795	838	810	796	784
[シェア%]	[7.3]	[7.8]	[7.1]	[7.3]	[7.9]	[8.4]	[7.6]	[7.9]	[7.7]	[7.8]	[7.8]
太陽光	35	48	66	129	230	348	458	551	627	694	791
[シェア%]	[0.3]	[0.4]	[0.6]	[1.2]	[2.2]	[3.3]	[4.4]	[5.2]	[6.0]	[6.8]	[7.9]
風力	40	47	48	52	52	56	62	65	75	76	90
[シェア%]	[0.3]	[0.4]	[0.4]	[0.5]	[0.5]	[0.5]	[0.6]	[0.6]	[0.7]	[0.7]	[0.9]
地熱	26	27	26	26	26	26	25	25	25	28	30
[シェア%]	[0.2]	[0.2]	[0.2]	[0.2]	[0.2]	[0.2]	[0.2]	[0.2]	[0.2]	[0.3]	[0.3]
バイオマス	152	159	168	178	182	185	197	219	236	261	288
[シェア%]	[1.3]	[1.5]	[1.6]	[1.6]	[1.7]	[1.8]	[1.9]	[2.1]	[2.3]	[2.6]	[2.9]

(注1) 一部で総合エネルギー統計とは異なるデータソースを使用しているため、総合エネルギー統計の値とは若干異なる部分があることにご注意ください。

(注2) 水力は揚水発電(揚水分)を除きます。

出典：『令和2年度(2020年度)におけるエネルギー需給実績(確報)p. 28より一部抜粋』(資源エネルギー庁)

問 2 問 1 で示されるように、日本のエネルギー分野には多くの課題が存在し、それらを現実的に解決していかなければならない。そのためには、一人ひとりができることをしっかりと考え、一歩踏み出す姿勢が求められている。

「エネルギー」分野における持続可能な社会の実現に向けて、あなたがこれまで活動してきたこと、これから活動したいことについて、500 字以内(改行による空白、句読点を含む)で述べなさい。